

第 25 回西東京糖尿病心理と医療研究会のご案内

先生方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度下記概要にて、第 25 回西東京糖尿病心理と医療研究会を開催させて頂く運びとなりました。本会は、日常臨床において重要な糖尿病をもつひとりひとりと私たちとの関係のありかたを学んでいく領域に関する研究・啓発を目的とした会で、医師及び糖尿病治療に関わる全ての医療従事者を対象に開催いたしております。

つきましては、何かとご多忙中のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえご臨席賜りますようお願い申し上げます。

記

日時：2024年11月16日(土) 15:30～18:50

会場：国立市商業協同組合 さくらホール

東京都国立市東 1-4-6 国立商協ビル 2F Tel. 042-572-1730

参加費：500円

定員：50名 ※申し込み先着順

プログラム

開会の辞【15:30～15:35】 杏林大学医学部 糖尿病・内分泌・代謝内科学教室 講師 近藤 琢磨先生

総合司会

朝比奈クリニック 院長 朝比奈 崇介先生

国立がん研究センター中央病院 総合内科・歯科・がん救急科 科長 大橋 健先生

第一部：ワークショップ【15:35～17:35】

『体験!糖尿病医療学的事例検討 ～事例検討をはじめよう～』

ファシリテーター：天理よろづ相談所病院白川分院 内科 北谷 真子先生

『「過不足のない支援」を願う人の医療・介護支援を振り返る』

症例提示：武蔵野赤十字訪問看護ステーション 糖尿病看護認定看護師 豊島 麻美先生

休憩 10分【17:35～17:45】

第二部：特別講演【17:45～18:45】

『かかえる環境としての支援者』

京都先端科学大学 人文学部 心理学科 教授 田中 史子先生

閉会の辞【18:45～18:50】

イムス三芳総合病院 内分泌・代謝センター 貴田岡 正史先生

* 日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>1単位 取得予定

* 西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位5単位 取得予定

共催

西東京糖尿病心理と医療研究会 ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

*当日はお茶をご用意しております

「糖尿病医療学的事例検討」

私達の施設では、深いレベルで糖尿病患者さんを理解し、患者さんの準備状態に合わせた支援を模索する事を目的として事例検討を行っています。これを通じて患者さんと私達の関係の在り方を学ぶという、「糖尿病医療学」の学びを深めています。今回は、患者さんの言動のみに目を向けるのではなく、「患者さんと医療者の間にあるもの」をも見つめながら、自分達が患者さんをどう考えるのか、今後どのように支援したいのか、を中心に議論を深める「糖尿病医療学的事例検討」を皆さんと体験したいと思います。

北谷 真子(きたたに まさこ)

石川県生まれ。高校(浪人?)までは名古屋で育ち、青森県の弘前大学に入学。卒業後は金沢大学に入局、大学院進学。石川県内の病院と大学病院とで研修をつむ。次第に糖尿病のチーム医療、糖尿病患者の心理的アプローチの必要性、重要性を実感し、石井均先生の教えをもとに病院内外で勉強を重ねた。2009年から天理よろづ相談所病院勤務。石井均先生、皆藤章先生のもとで研鑽をつみながら、病棟での事例検討(症例心理カンファレンス)の開催や、県外での事例検討のコーディネートなど、事例検討を通じて糖尿病医療学の構築を目指す事を目標としている。日本糖尿病学会専門医、日本内科学会認定内科医。医学博士。

「田中史子先生のご紹介」

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了, 博士(教育学)。臨床心理士・公認心理師。京都桂病院で臨床心理士として勤務したのち、京都文教大学・人間環境大学での勤務を経て、現在は京都先端科学大学人文学部心理学科・大学院人文学研究科教授。著書に『物語(tale)の臨床心理学』がある。京都大学大学院在学中から糖尿病当事者への心理的援助に関心を持ち、現在、科研費助成事業「高齢化する慢性疾患患者への心理的支援に関する統合的研究」などに取り組んでいる。

「糖尿病医療学のススメ」

治らない病「糖尿病」を携えた人達はその治療をするにあたって血糖を下げるような努力を生涯強いられる。そしてそれを強いる者はその人達にとっては赤の他人である私たち医療者である。しかし糖尿病を携えた人達には各々に人生があり、医療者に強いられた努力をするかしないかはその人の人生の中での重要度に照らし合わせて本人が決めるのである。そのような努力がその人達の人生の中でどんな重みを持つかを私たち医療者は最初は知らない。しかし医学のみならずその人達と話し合い、生き方や価値観を共有し、その人の行動力や意思の強さなどを鑑みてその人に見合った療養行動と一緒に模索することが私たち医療者の仕事なのだと思う。私たち医療者と糖尿病を携えた人達の間で生まれる齟齬や軋轢は私たち医療者が十分な会話をせず、一方的に医療者の価値観で治療方針を決めることによって起こる。私は糖尿病医療学とはこのようなことがないように、我々は糖尿病を携えた人達と良く話し合い、その信念や背景をよく考える習慣を身につけようとする学問だと思っている。

代表世話人 朝比奈 崇介

第 25 回 西東京糖尿病心理と医療研究会 参加申込書

【 お申込み先 】

【 お問合せ先 】

FAX 番号. 042-400-5952

TEL 番号. 042-400-5951

申込み締切り: 2024 年 11 月 8 日(土)

担当 : ノボ ノルディスク ファーマ(株) 木村誠

御施設名

御所属

御氏名

糖尿病診療に携わっている年数 年間

御職種 医師 看護師 薬剤師 栄養士 その他

* 該当する職種 に、お手数ですがチェックをお願い致します

連絡先 TEL 番号

E-Mail

* 個人情報保護法に基づき、ご施設名・ご氏名などの個人情報は、本会への出欠の確認にのみ使用させていただきます。

* 尚、お申込み頂いた時点で参加受付完了とさせていただきます。

* 先着50名様を超えてお申込み頂いた際には、弊社担当者より連絡させていただきます。

* 交通費等の負担は参加者ご自身でお願い致します。

会場 : 国立市商業協同組合 さくらホール 周辺地図



住所: 東京都国立市東1-4-6 2F 電話番号: 042-572-1730